

単元（題材）目標

- ・手話を取り入れた歌とダンスを体験することを通して、手話に親しむと共に、手話の可能性について知る。
- ・誰とでも気持ちを合わせて楽しく踊ったり、互いのよいところを見付けたりして、仲良く運動することができる。

（１）実施時期

９月

（２）対象（学年等・人数）

５学年 118名

（３）指導者（教諭・外部講師等）

外部講師：手話パフォーマー

（４）実施内容

- ・外部講師による「星物語」の歌と手話ダンスのパフォーマンスを鑑賞する。
- ・各クラスに分かれて、講師から「星物語」の手話とダンスのレッスンを受ける。
歌詞を表す手話について一つ一つ丁寧な解説
手話ダンスの体験
- ・クラスごとに練習の成果をステージで発表する。
- ・最後に学年全員で輪になって踊る。

（５）成果

- ・テレビ等で手話を見かけると、関心をもって、見るようになった。
- ・辞典等で手話について調べるきっかけとなった。
- ・手話についてもっと学びたいと思った。
- ・手話を使うことで、聴覚障がいがある方も一緒に、音楽やダンスも楽しめることが分かった。
- ・手話ダンスは、体全身を使って手話に触れるよいチャンスとなり、子どもたちにとって、自分の思いを相手に伝える表現方法が広がるきっかけとなった。